

今月号のクリニカラーは、私の所属施設からの報告である。症例報告がクリニカラーに選ばれることは、とても名誉なことであり、共著者として嬉しい限りである。当然のことだが、その選考に付度があつたわけではない。今回の編集後記ではクリニカラーがどのように選ばれているかについて述べてみる。

投稿規定にあるように、本誌はクリニカラーとしての投稿を受けており、応募があれば査読によって採否が決定される。それ以外にも、編集委員が症例報告を査読する際に、クリニカラーに適した臨床写真を推薦することができる。編集会議で編集委員全員の賛同が得られたものについて、著者に依頼してクリニカラー用の原稿を書いていただいている。クリニカラーの選択基準が明文化されているわけではないが、編集委員はそれぞれの基準をもって適した臨床写真を推薦し、編集会議にあげている。そこで、私自身がどのようなものをクリニカラーに推薦しているかを振り返ってみた。

一般的なことだが、臨床写真は印刷物に適した解像度の鮮明な画像で対象の皮疹にピントが合っていることや、アングルが適切で皮疹の臨床的な特徴をとらえていることが望まれる。コンピュータで画像処理を行えば、全体像から一部の皮疹を拡大して見せることは容易だが、画像の解像度が劣り、また正面からのアングルではないことが多かったり、フォーカスが合っていないかったりする。そのため臨床写真を撮る時点でこれらのことを意識して、皮疹の特徴をとらえた鮮明な写真を撮る訓練が必要となる。クリニカラーの場合には、さらに典型的あるいは印象的な臨床写真であることや、一見して診断がつかなくても本文を読んで臨床写真を見直すと納得できるような説得力が要求される。また、病理検査などで診断が確実であることが大前提となる。対象となる疾患は、臨床像から思いつかないような意外な疾患やまれな疾患を取り上げることもあるが、外来で遭遇することのある臨床像が特徴的で見逃してはいけない疾患や、若手の先生方にぜひ知っていただきたい疾患も教育的な意義から積極的に選択している。クリニカラーを臨床写真の撮り方、写真の選び方という視点でも関心をもっていただきたい。

(林 伸和)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第63巻 第4号 4月号

2021年4月1日発行（毎月1回1日発行）
定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間購読料金
定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）
〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕
TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕
FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005
広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。